

秋冬主要露地野菜の生育概況をお知らせします。

注：この生育概況は、気候変動の影響を受けやすい秋冬ものの主要露地野菜について、その生育概況を全国の主要産地の一部について調査したものです。今後の気象変動等により、大きく変わることがあります。

秋冬露地野菜の生育概況（１０月中旬調査分）

（品目：冬キャベツ）

県名	産地名	作付面積見込み	出荷最盛期	生育ステージ	生育概況	産地の特徴ある取り組み
千葉県	銚子	964 ha	11月中旬～12月中旬	生育初期	生育は平年並み。 現時点での生育の良否は、やや良。 病害虫の発生・大きな天候災害もなく、各産地とも生育順調。	
愛知県	豊橋	1,410 ha	12月上旬～3月上旬	生育終期	生育は平年に比べ7日遅い。 現時点での生育の良否は、平年並み。 スプリンクラーによる水の散布むらにより生育にバラツキが発生している。病害虫は、現在のところない。	部会出荷のものについては、栽培管理記録票に使用農薬及び施肥状況を記載し、安心安全な農産物を消費者に届けることとしている。

（品目：秋冬だいこん）

県名	産地名	作付面積見込み	出荷最盛期	生育ステージ	生育概況	産地の特徴ある取り組み
鹿児島県	十三塚原	87 ha	12月上旬～12月中旬	生育中期	生育は平年並み。 現時点での生育の良否は、平年並み。 播種は、8月20日前後から9月下旬が大半であるが、現在も継続的に播種が見られる。 すでに収穫期に入っているだいこんは、生育初期の高温、降雨不足による発芽不良から欠株が見られるが品質は良い。 9月以降播種分については、適度な降雨があり、欠株、病害虫の発生も少なく、また生育ムラもなく良好。	

（品目：冬にんじん）

県名	産地名	作付面積見込み	出荷最盛期	生育ステージ	生育概況	産地の特徴ある取り組み
千葉県	八街	520 ha	11月下旬～2月下旬	生育初期	生育は平年並み。 現時点での生育の良否は、やや良。 全般的に各産地とも生育順調で、豊作傾向。	全農千葉県本部が推進する「もっと安心農産物」を一部で実施。
茨城県	鹿島	298 ha	11月下旬～2月下旬	生育中期	生育は平年並み。 現時点での生育の良否はやや良。 発芽良好、病害虫も目立った発生もなかった。	農協が栽培履歴の記帳を推進中。100%の農家が取り組んでいる。
愛知県	碧南西尾	346 ha	12月中旬～3月上旬	生育中期	生育は平年並み。 現時点での生育の良否は、平年並み。 多雨、台風の影響で播種が5日程遅れ、8月の冷夏の影響で生育が全般に遅れた。9月は高温傾向で生育がほぼ回復傾向に近づいたが、高温の影響で割れが目立ち、品質低下が懸念される。 病害虫の発生は少ない。	優秀なF1品種を導入し、秀品率の向上と出荷期の前進が図られている。 栽培履歴については、記帳用紙を全農家に配布し、肥料及び農薬の使用実績を全て記帳し、提出することとしている。 また、出荷直前に全農家が各一点残留農薬検査を受け、残留と不正使用の無いことをチェックし、消費者に安信安全を届けることとしている。

(品目：秋冬ねぎ)

県名	産地名	作付面積見込み	出荷最盛期	生育ステージ	生育概況	産地の特徴ある取り組み
埼玉県	妻沼町	315 ha	11月中旬～2月中旬	-	生育は平年並み。 現時点での生育の良否は、平年並み。 7月～8月の降雨から土寄せの遅れが散見されるが、肥大は順調。 10月の気象条件から作柄は回復。	
千葉県	山武	340 ha	12月中旬～3月中旬	生育初期	生育は平年並み。 現時点での生育の良否は、やや良。 干ばつによりやや遅れ気味であったが病害虫の発生・大きな天候災害もなく作柄は回復し、各産地とも生育順調。	

(品目：秋冬はくさい)

県名	産地名	作付面積見込み	出荷最盛期	生育ステージ	生育概況	産地の特徴ある取り組み
茨城県	常総	898 ha	11月上旬～12月下旬	収穫初期	生育は平年並み。 現時点での生育の良否は、やや良。 病害虫の発生は少ない。	農協が栽培履歴の記帳を推進中。 100%の農家が行っている。
愛知県	豊橋	350 ha	1月上旬～2月下旬	生育初期	生育は平年並み。 現時点での生育の良否は、平年並み。 9月は雨が少なく、中旬に播種したものは、発芽が不揃いである。 病気は、白斑病が散見される程度。 害虫の発生は、特にない。	部会出荷のものについては、栽培管理記録票に使用農薬及び施肥状況を記帳し、安心安全な農産物を消費者に届けることとしている。

(品目：冬レタス)

県名	産地名	作付面積見込み	出荷最盛期	生育ステージ	生育概況	産地の特徴ある取り組み
茨城県	茨城県西	1,160 ha	11月上旬～11月下旬	生育後期	生育は平年並み。 現時点での生育の良否は、やや良。 病害虫の発生は少ない。	農家が栽培履歴の記帳を推進中。 100%の農家が行っている。
兵庫県	あわじ島	962 ha	11月中旬～1月中旬	-	平年に比べ5日遅い。 現時点での生育の良否は、やや良。 9月上旬の気温上昇に伴い、害虫の影響が見られたが、その後、気温が下がり、特に問題はない。	土づくり、減化学肥料栽培、減農薬栽培。

秋冬露地野菜の生育概況（10月下旬調査分）

(品目：秋冬だいこん)

県名	産地名	作付面積見込み	出荷最盛期	生育ステージ	生育概況	産地の特徴ある取り組み
宮城県	串間	8.0 ha	11月下旬～1月下旬	-	生育は平年並み。 現時点での生育の良否は、平年並み。 播種のピークがなかったことから、現状では出荷最盛期を把握できていない。 9月下旬の日照りによる蒔き直し等から10月下旬まで播種予定であるが、11月になる圃場もでる見込み。現在は病害虫の被害も無く生育は良好。	加工用だいこんは千切だいこん・漬物用だいこんの輸入により、価格が低迷し産地面積減少傾向。